

## 箱セミナー 職場編2days

### ●なぜ社員同士で協力ができないのか・・・

上司や同僚の失敗を心の底では喜んでいて、目に見えないところで足を引っ張り合う社員。他人の給料袋の中身ばかりが気になり、自分はきちんと評価されていないと被害者意識を持つ社員。部門間での言い争いは絶えないし、女子社員たちは給湯室やトイレからなかなか出て来ない。何をしているのかと思えば、愚痴や陰口が中心の長話。でも実は愚痴を言い合う当人たちも腹の探り合いをしている始末。女子社員がなかなか定着しない。その裏には、お局様と言われる古参事務員の新人へのいじめと、それを見て見ぬふりをする上司たちがいるという現実。辞めた社員からの未払い残業代請求や突然の労働基準監督署の訪問。労務管理にストレスを感じ、また、紛争解決に気を病みながら人事部や総務部のスタッフの負担は大きくなるばかり・・・

そもそも、会社は何をすることでしょうか？目標を達成し、収益を上げる。より良い成果を出す。組織とはそのために集まり集められた、目的を持った集団のことです。それなのに、

私たちは、人間関係における問題解決に一体どれだけの労力と時間をかけているのでしょうか！？

あなたをとりまく人間関係のトラブルを、一挙に解決する考え方がここにある！



2006年に発売されてから、6年間に渡って毎月、AMAZONベストセラー総合ランキング 100位以内・ビジネス書では20位以内に入っている驚異のモンスターブック『自分の小さな箱から脱出する方法：アービンジャー・インスティチュート著』を知っていますか？

組織内における問題のほとんどは、人間関係にまつわるものです。

そしてその原因は、組織にはびこる【箱】にあります。



箱って何だ？ 自分をだます？ 自分の感情が本当に嘘をつくのか？

【箱】とは、一言で言えば【自己欺瞞】のこと。【自己欺瞞】とは哲学用語であり、欺瞞とは欺くこと、だますことを意味します。つまり、自分で自分自身を欺き、自らに問題があると気づいていない状態を指します。したがって、解決すべき問題として取り扱われないことによって、問題の根はさらに深いものとなっていってしまうわけです。しかし、そもそも、自分に問題があると気づいていない人にどうやってそのことを改善するように伝えれば良いのでしょうか？ この【箱】という概念は哲学者テリー・ウォーナーによるものであり、【箱】セミナーは、人間学における先端研究機関「アービンジャー・インスティチュート」が開発したプログラムです。【箱】というメタファーを用いて視点の転換を図ります。

### アービンジャー・インスティチュートとは？

アメリカ、ハワイ、オーストラリア、ブラジル、カナダ、中国、デンマーク、フランス、インド、イスラエル、日本、韓国、マレーシア、メキシコ、オランダ、ニュージーランド、シンガポール、南アフリカ共和国、台湾、アラブ首長国連邦などの19カ国合計23箇所を拠点として活動する人間学を研究する世界機関。

アービンジャー公認  
ファシリテーター  
代表取締役 伊藤彰記



【日程】2012年 2月 25日(土)～26日(日) 両日とも10:00～18:00  
3月 24日(土)～25日(日) 両日とも10:00～18:00  
4月 28日(土)～29日(日) 両日とも10:00～18:00

【受講料】150,000円(お二人様240,000円) 【場所】株式会社ハウキン ミーティングルーム

お申込みFAX:0532-32-2321

会社名: \_\_\_\_\_ 部署名: \_\_\_\_\_  
役職名: \_\_\_\_\_ お名前: \_\_\_\_\_  
TEL: \_\_\_\_\_ FAX: \_\_\_\_\_  
E-mail: \_\_\_\_\_

【お問い合わせ】株式会社ハウキン 〒440-0095 愛知県豊橋市清須町字高見32  
Tel 0532-31-5341 Fax 0532-32-2321



HPからもお問い合わせいただけます

<http://www.houkin.com>